

誦諧合

五

特別
6718
5



15
6718
5

祇園奉納能楽連多合本并又 後句

百二十一中句

たお

元懐

舞う目も昔程かそこのま

志

杖温

あまうりー 祇園とくらじや 妙の井
たを程乃園せつるの 祇園社の 縁起
夫程乃およああるま九おや名ははさその
おりー 園とくら程との 杖温とくわるよ
て。じ程乃たれはせはつるはあ紙の家

非道(五)



よのひもいららひられけり推しつらうと
 ものしるやとゆらん。たは彼方之乃神あり
 らん。とらふに多し。かたは歌もぞのちも
 り。よはつゆいふに。ものもはかぬれ。とら
 とらふに。せん。よあひく。たは。の
 うら。のり。たは。のり。
 百二十三番

たは

如負

さるもめで。田のまき。物よか。うら。

花頂山やうらぐ。條からあか。か
 たぎ。の。も。め。で。田。の。ま。き。の。り。の。り。
 と。は。ら。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 め。その。乃。物。象。と。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 傳。歎。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 ち。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 ち。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。

世

山

のこころはなほしむるはなほしむる
てかたしむるはなほしむるはなほしむる
しなほしむるはなほしむるはなほしむる
しらなほしむるはなほしむるはなほしむる
うめしむるはなほしむるはなほしむる
百二十二年

左 務

淨心

七

永利

さだらむるはなほしむるはなほしむる
はなほしむるはなほしむるはなほしむる
しなほしむるはなほしむるはなほしむる
しらなほしむるはなほしむるはなほしむる
うめしむるはなほしむるはなほしむる
百二十二年

たなほしむるはなほしむるはなほしむる
たなほしむるはなほしむるはなほしむる
しなほしむるはなほしむるはなほしむる
しらなほしむるはなほしむるはなほしむる
うめしむるはなほしむるはなほしむる
百二十二年

七

泰雅

たなほしむるはなほしむるはなほしむる
たなほしむるはなほしむるはなほしむる
しなほしむるはなほしむるはなほしむる
しらなほしむるはなほしむるはなほしむる
うめしむるはなほしむるはなほしむる
百二十二年

左 務

可全

つまらしむ。たち方の人やめるは編ら梅を
ひきまをいづれとてうらむかこりやゆらん
あがし。あまのつとあつてよとてもひ
おのせりとつとつんじさるはやちん松の系
らちちち池申樹とらる。賞賜のこしじ
と難業せるとちかしくそのひて。い
ふ難もゆつぬらつよとててゆらん

百二十六の梅

片務

忠臣

えん一ひ

おまのよまらう一野やを編ら梅

ち

忠臣

南後とるは水枝乃花乃児なみき

友を敏外物良よちのよまらう一野
とらる。あつらふ編ら梅とらひくそつた
とめをこらうやうえゆる。ちか敷えん三品の露
暖南後花嫁あま筈とゆらまらる網いとを
す水枝乃花のあひをせつらぶつれとら
ともかまゆつぬよちとらよみち
とるさゆ一はく。松まつをよまらう一ひが
くやとらんサあつらしくはばとらやとらん

ふつとくたせくらとと

百二十七八番

たお

泰久

編ら梅とつらとつらんあゆ花魁か

た

紹性

作らとらやま乃彼教乃書佛

編ら梅とつらとつら花魁のらんとつらひ

とらみきんたつらとつらとつらとつらとつら

とつらとつらとつらとつらとつらとつらとつら

とつらとつらとつらとつらとつらとつらとつら

ん乃書仏と作らとつらとつらとつらとつら

このは乃書よもつらとつらとつらとつらとつら

ひあせらとつらとつらとつらとつらとつら

綴もそ折乃氣とつらとつらとつらとつら

やめらとつらとつらとつらとつらとつら

とつらとつらとつらとつらとつらとつら

かつらとつらとつらとつらとつらとつら

百二十八番

たお

勝房

まゐらとつらとつらとつらとつらとつら

非苗巻五

六

た 物

静山

手と折くわへし物や生草

た

物

納海や彼等様も連さく

たの句は乃わひのうらみは物さきし

とよめらるるをよとらるるに翻あせられぬ

珠よとらるるびらもつらてつらとらるる

わらじうらた花まのやどの久しうら

やいふ歌も連さくよも海くつらるる

あぐら排酒神もく彼等様もをそ様

とらるるもさくめつらるるた乃を

と折てとらるるあへしぬるた乃を

もぬらるるもさくゆらるるた乃を

てゆらるるも

百三十一番

た 物

古歌

あさもらひさふあさるる

た

古歌

面白や狭園林もさく

たの句はあさもらひさふあさるる

ひうらうとよめる親とうきさうらあやけあさ
もよみひらるる方葉ふまを扱序よ式を名
門心乃流とひさくは後乃流よ物り
飯と炊くをさあさりうひと云紀を薪
ありそれともやして飯と炊くをさよら
てさ乃らひないんともさなをさ
物さよひとさうらうらなをさなれさま
といまん枕詞ちるんらさくさよら
まやひうらうらうらもやと急さうら
らさくら物ほらうらうらさくさ乃林れ

ま乃きうらさくさうらうら
ゆら絲乃ゆらうらあひもあうら
百二十二番

た街

康吉

みまもそやひさうは志らぬ義乃波

太

正格

食義もりそ目望乃義乃乃
義と志とさうらうら引志ゆらぬ義乃
ゆらうら海りうらうら館持もさそが
志ゆらうらうらあや合籠もりさく

言集卷之三十一
しそふるも月ひゆるふふれば道ハみそ
信流さくたをわらとと
百二十の歌

た

常可

つらむを柳さく繼乃良然う那

右務

則常一

飛やちるまよふ波よとる伴勢極
たの勢そまふ乃綿とよある網ととれる
めもあやよとらととらとつれは右方乃人
りをさし柳もあつこや極綱とやらる

おゆるりもやうゆらおちや歌を月ひ
あはれゆるりかともあまことうぐつひひ
やもつひかたれや右方そ天照大神を
傷命おなへつるみこし乃り
この神風停勢ふまを右之浪を浪際也
信必可憐也歌振をまとの海りせま
し日中礼乃身六よんをわらそれとせ
ざらう乃ちるまよふ波乃波のひうま
ふ歌集とくくつらわらたのうもあ
わらとらあまことうぐつひひもゆる

非道集卷之三十一

三十一

もあよもし書はくくしつせまぐもら
はくぬとく殿と殿とのらりめらあ
もあやうきさう殿治と飛治のあ
つ然りくわまらとほくあ
もあやうしとくくくくくくく
もあやうのわが様難もくくくくくく
たさうらとく

百二十七年

片

春

じー男みらうーはくや島よ

七

收

標ははく色あるあはくくく
たうからせわぐくくくくく
乃あまくわくくくくくく
とくくくくくくくくくく
色くはくくくくくくく
よくくくくくくくくく
はくくくくくくくくく
や中家系との相あま
くくくくくくくくく

らひしをたからぬ

百四十

片

長次

さうわいふかたの思ひも美人の

中

則常

思ひて鳴るひりごとくんれ

あつらふらふしものいひよの

あつらふらふしものいひよの

あつらふらふしものいひよの

あつらふらふしものいひよの

あつらふらふしものいひよの
あつらふらふしものいひよの
あつらふらふしものいひよの
あつらふらふしものいひよの
あつらふらふしものいひよの
あつらふらふしものいひよの
あつらふらふしものいひよの
あつらふらふしものいひよの
あつらふらふしものいひよの
あつらふらふしものいひよの

片

中

月さらよ色をよる世に

中

可全

候ひしや徳村中をせよ葛蒲

非

五

わしとてはさかすかすもあはれ
さしげとちかちかもあはれ
りりりりりりりりりりりりり
百も千もあはれ

た

恭雅

ゆきとてあはれあはれあはれ

ちか

ちか

雨夫の下の雨もあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
もあはれあはれあはれあはれあはれ

六
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ

たお

忠良

たのきとてあはれあはれあはれ

ち

を伝

鬼ゆつとあはれあはれあはれ
たのきとてあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ

Handwritten text in cursive style, consisting of approximately 12 lines of characters.

Handwritten text in cursive style, consisting of approximately 12 lines of characters.

Handwritten text in cursive style, consisting of approximately 1 line of characters.

右橋

不益

ち

益

遠くは遠くへも
もたした方へ
らもたした方へ
百平八歳

左書

右書

らもたした方へ

右

左

らもたした方へ

らもたした方へ

らもたした方へ
らもたした方へ
らもたした方へ

百平九歳

左書

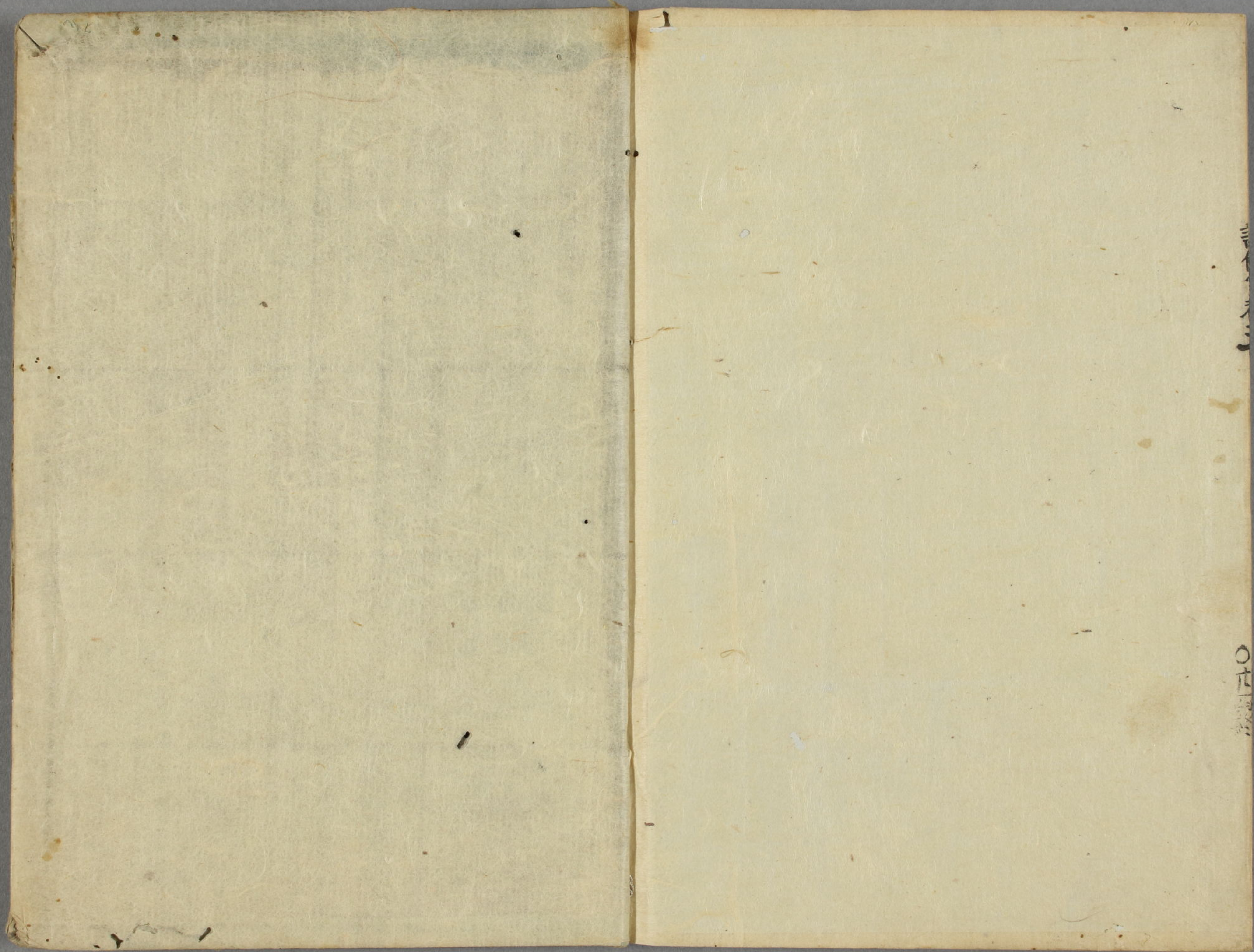
右書

らもたした方へ

右

左

らもたした方へ



Handwritten text, possibly a page number or reference mark, located on the right edge of the right page.

Handwritten text, possibly a page number or reference mark, located on the right edge of the right page.

